

とちぎの森林・

かんきょう 自然環境

01 栃木県の森林

栃木県には、どれくらい森林があるの？ 01-01

人工林じんこうりんと天然林てんねんりんってなんだろう？ 01-02

02 代表的な樹木

針葉樹しんようじゆ：スギ・ヒノキ・アカマツ 02-01

広葉樹こうようじゆ：コナラ・クヌギ・ブナ 02-02

03 森林のはたらき

森林には、どんなはたらきがあるの？ 03-01

「保安林ほあんりん」ってなんだろう？ 03-02

04 「林業」ってなあに？

森林を守り育てる林業 04-01

林業で使われる道具・機械 04-02

森林を元気にする「間伐かんぱつ」 04-03

地球温暖化ちきゅうおんだんかを防ぐ森づくり 04-04

05 栃木県の林業

木材やキノコなどの生産 05-01

4つの林業地りんぎょうち 05-02

06 「木」のことを知ろう!!

「木」の良さってなんだろう？ 06-01

「木」は環境かんきょうにやさしい材料です 06-02

「木」を使おう!! 06-03

07 森林はなぜたいせつなの？

自然界のつながり「生態系せいたいけい」 07-01

栃木県の鳥獣ちようじゆう 07-02

人間にとっての森林 07-03

08 森林や自然環境を守ろう

とちぎの元気な森づくり 08-01

身近な取り組み、ボランティア活動！ 08-02

森林やみどり、自然を守る様々な取り組みさまざま 08-03

「とちぎの森林・自然環境」各シートの関連図

シート ××
○○○○○○

左の記号が、シートナンバーと
タイトルに対応しています。

森林

森林

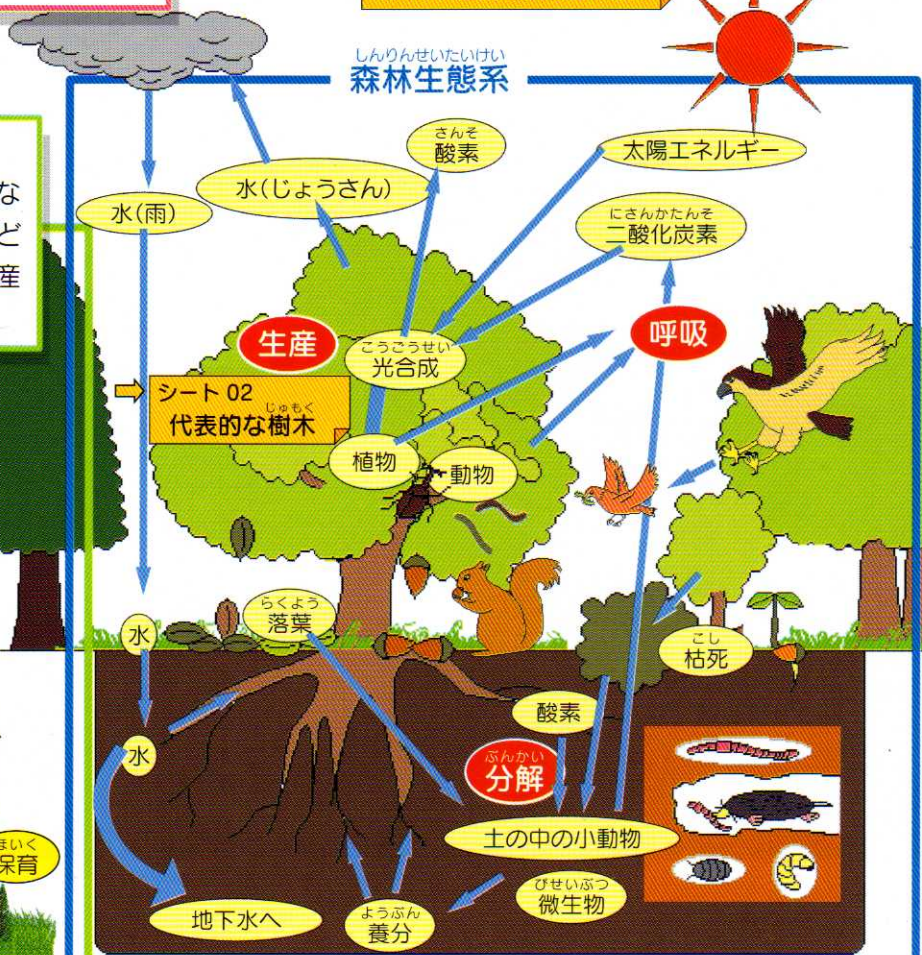
植物の集団のうち、樹木が優先している集団を「森林」といいます。

林業

林業は、森林を維持し改良しながら、木材・タケ類・きのこ類などの林産物を商品として生産する産業です。

シート 01
栃木県の森林

シート 08
森林や自然環境を守ろう



シート 04
「林業」ってなあに？

シート 05
栃木県の林業

林業



森林生態系の模式図

森林に生きる生物(植物、動物、菌類など)同士の間や、生物以外の環境(水、土、大気、太陽エネルギーなど)の間には、上図のようにつながりがあります。

このような、森林のなかで、たがいに繋がって生きていくくみを「森林生態系」といいます。

シート 07
森林はなぜたいせつなの？

シート 03
森林のはたらき

森林のめぐみ

二酸化炭素の吸収、洪水や水不足の防止、木材の生産などの様々な「森林のめぐみ」は、私たちの生活を支えています。

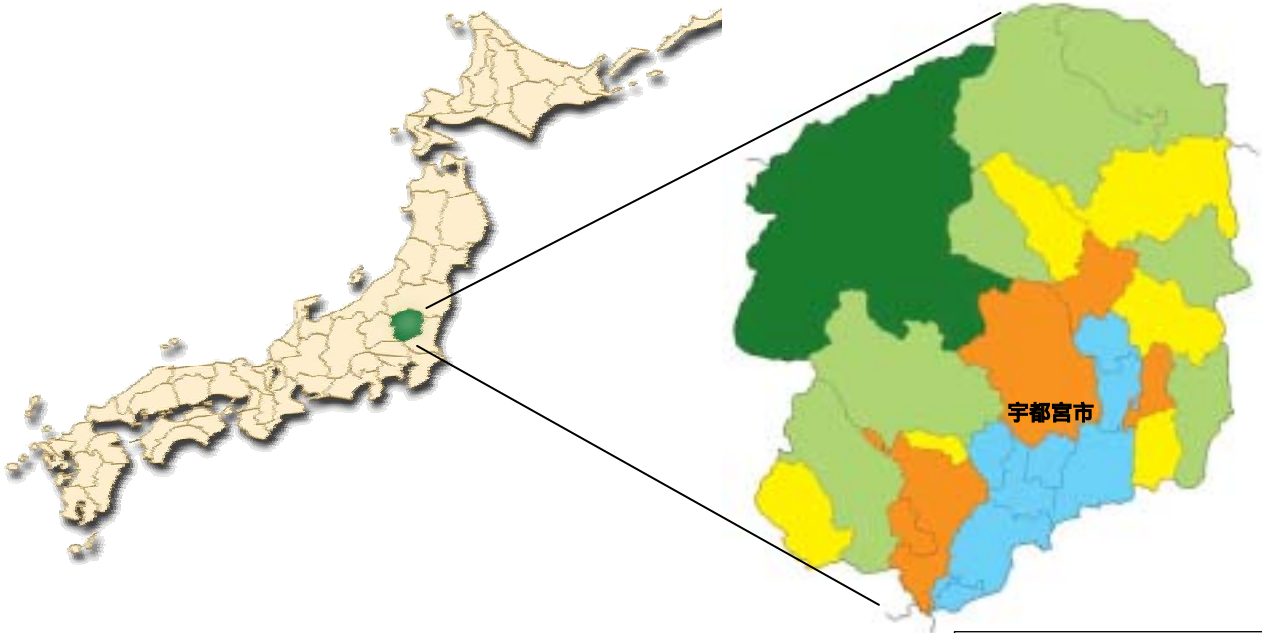
シート 06
「木」のことを知ろう!!



森林のめぐみ

01-01 栃木県には、どれくらい森林があるの？

わたしたちが住んでいる栃木県には、森林がどれくらいあるのでしょうか？
また、森林がしめる割合や、世界の森林面積はどれくらいでしょうか？



栃木県の森林面積：34万9千ha

森林率：県土面積の約55%

「平成21年栃木県森林・林業統計書」（栃木県環境森林部）

全国の森林面積：2,510万ha

森林率：国土面積の約67%

「森林資源の現況調査（平成19年3月）」（林野庁）

各市町の森林率



世界の森林面積

世界全体：約39億^おha 陸地面積の30%

アジア全体：約5.7億^おha 森林率19%

南米全体：約8.3億^おha 森林率47%

「森林・林業白書（平成21年版）」（林野庁）

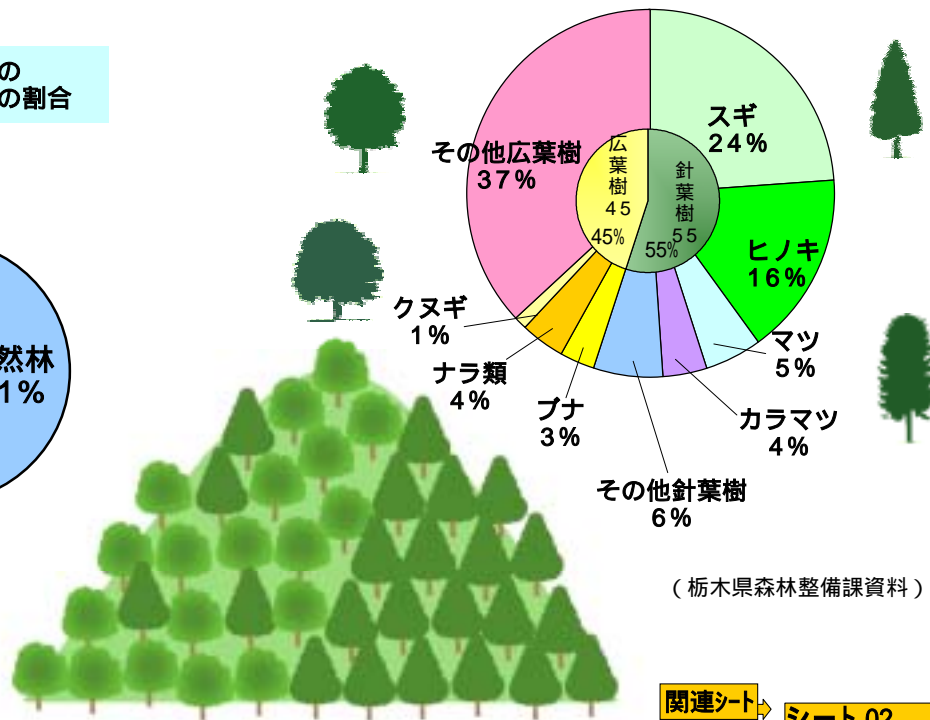
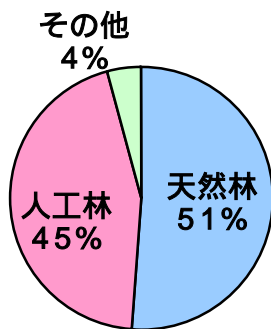
森林率：森林の面積を、全ての土地の面積で割ったもの

01-02 人工林と天然林ってなんだろう？

県内に生育している主な樹木には、どんな種類があるでしょう？ また、「人工林」と「天然林」とは、どんな森林をいうのでしょうか？

栃木県の森林面積の樹種別割合

栃木県の森林面積の人工林・天然林の割合



(栃木県森林整備課資料)

関連シート → シート 02 代表的な樹木

人工林



人が苗木を植えて育てている森林を人工林といいます。主に、木材を生産することを目的としてつくられた森林です。

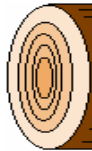
人工林は、スギやヒノキなど、同じ種類の木を一斉に植えることが多いので、遠くから見ると、木がそろってまとまった様子をしています。

天然林



まわりの木から落ちた種や、風や動物に運ばれてきた種が芽を出し、そのまま自然に育った森林を天然林といいます。

天然林は、人間がつくった人工林とはちがいで、いろいろな種類や年れいの木が混ざっているので、遠くから見た様子もさまざまです。



02

代表的な樹木

02-01 針葉樹：スギ・ヒノキ・アカマツ

それぞれの樹木がつくる森林のすがた（針葉樹林）



スギ林



ヒノキ林



アカマツ林

葉のかたちや実・花



スギ



ヒノキ



アカマツ

日本の人工林の代表的な樹種です。

「スギ」の名前は、幹がまっすぐに成長することから、「直木（すぎ）」を表しているといわれています。

日光街道の「杉並木」は、江戸時代に植えられたもので、樹齢300年を越えます。

木材は、建築用や船舶、家具、包装用など、幅広い用途があります。葉は線香の材料に使われています。

日本の人工林では、スギの次に多い樹種です。

昔はこの木で火をおこしたことから、「火の木」と名付けられたと言われています。

葉は古くから魚、肉、キノコなど生ものの防腐用として使われています。

木材は光沢があり、香りが良く、長持ちすることから、建築用をはじめ、家具や工芸品などにも使われます。代表的な建物として、法隆寺（奈良県）があります。

「アカマツ」の名は、幹が赤いことから名付けられました。

よく手入れされた松林には、秋にマツタケが発生します。

1970年ごろから「松くい虫」の被害が広がり、全国的にも松林は減少しました。

木材は湿気に強く、建築の土台材や、杭などの土木用材などとして使われています。

02-02 広葉樹：コナラ・クヌギ・ブナ

広葉樹林のすがた



天然の広葉樹林の紅葉

天然林については

シート 01 栃木県の森林
01-02 人工林と天然林ってなんだろう？

葉のかたちや実・花

コナラ



日当たりのよい山野に普通に見られます。大きいものは、樹高20～30mに達します。秋になると、小型のほっそりしたドングリがなります。

木材は、シイタケ原木として多く利用されるほか、木炭・薪などの燃料用としても使われています。

クヌギ



里山の平地林に植林したものも見られます。コナラとよく似ていますが、コナラよりも葉は細長く、丸くて大きいドングリがなります。

木材は、シイタケ原木や木炭として利用されます。

名前は、「国木（くにき）」がまったものといわれています。

ブナ



県内では、日光・那須・塩原などの山岳地に自生しています。

実は、赤みがかった褐色で、「ソバ」の実に似ており、食べられます。

木材は、建築用、家具用、船舶用、パルプとして使われています。

栃木県のシンボルとして県木、県獣、県花、県鳥が選ばれています。
県木と県花は、どちらも広葉樹です。どんな木が選ばれているか調べてみましょう。

県獣、県鳥については

シート 07 森林はなぜたいせつなの？
07-02 栃木県の鳥獣

03-01 森林には、どんなはたらきがあるの？



健康な木がないと...

にさんか たんそ
二酸化炭素を
と
取り込んで
さんそ
酸素を作る
ちきゅう あんだんか ふせ
地球温暖化を防ぐ
やくわり
役割もあります

みんなが楽しむ場所になる
ハイキングや森林浴など
しんりんよく

こうずい みずぶそく
洪水や水不足
を
ふせ
防ぐ
雨は、スポンジ
みたいな森林の
土に吸い込まれ
て地下水となっ
て時間をかけて
少しずつ川に流
れます

やせい どうぶつ
野生動物の
す
すみかになる

やまくず
山崩れを
ふせ
防ぐ
木の根が土を
しっかりつか
まえてくれて
います

きれいで
おいしい水
をつくる



健全な森林

木材を生産する

03-02 「保安林」ってなんだろう？



森林はいろいろなはたらきを持っていることがわかったね。



うん、よくわかったよ。



豊かな森林がないと、土が流されやすく、山崩れが起きる原因となります。



豊かな森林があると、安定して下流に水が供給されます。

山崩れが起きないように

だから

洪水や水不足が起きないように

特に重要な役割を果たしている森林は、保安林に指定されます。
保安林は、法律で伐採や開発が制限されており、森林の役割を十分に発揮できるように適切に保全・管理されます。



保安林は全部で17種類あります。

そのうち、栃木県では、水源かん養保安林、土砂流出防備保安林、保健保安林、干害防備保安林、土砂崩壊防備保安林、風致保安林、水害防備保安林、防風保安林、落石防止保安林の9種類の保安林を指定しています。

栃木県の森林面積の53%が保安林です。



04-01 森林を守り育てる「林業」

林業の主な作業

なえぎ
苗木（スギ、ヒノキなど）の育成
じ
地ごしらえ（植える場所を整える）
しょくりん
植え付け（植林）
したがり
下刈
かんぼう えだう
間伐・枝打ち
ばっさい しゅうかく
伐採（収穫）



森林組合作業員など山で働く人



畑に種をまき、3年程度育てた苗木を山に植えます。

山に苗木を植えてから、40年以上かけて木材として利用できる太さに育てて、伐採します。
その間に、下刈や間伐・枝打ちなどの作業を行います。

伐採したあとの森林では、再び苗木を植えて森林を育てていきます。

林業は、このような作業を繰り返し行うことにより、大切な森林を守り育てています。

04-02 林業で使われる道具・機械



刈払機（かりはらいき）

したが
下刈りのときに使います。



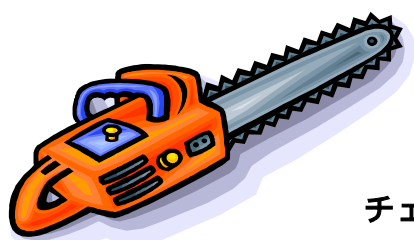
鎌（かま）

じ
地ごしらえや
したが
下刈りに使います。



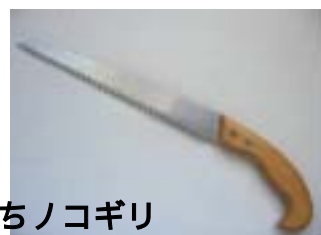
鉋（なた）

えだう
細い木を切ったり、枝打ちに使いま
す。



チェーンソー

木の幹や太い枝などを伐る道具で、代表的な林業機械です。伐採や枝
払い（伐採した木の枝を落とす）、玉切り（伐採した木を一定の長さ
に切る）などに使います。



枝打ちノコギリ

みき きす
太めの枝を切ったり、幹を傷つけない
ように枝を切るときに使います。



ヘルメットや手袋

高性能林業機械（こうせいのもりぎょうきかい）

1つの機械で、複数の作業（伐採+枝払い+玉切り+集材など）ができる
機械です。



ハーベスタ

フォワーダ



ハーベスタ

伐採と枝払い、玉切り（一定の長さの丸太
に切る）の3つの作業と、切った丸太を集
める作業をこなします。



フォワーダ

丸太をつかんで荷台
に積み、目的の場所
まで運搬します。

04-03 森林を元気にする「間伐」

元気な森林は、水を育んだり、土砂崩れを起こりにくくするなど、森林のいろいろな働きを十分に発揮することができます。

人の手で植えられたスギやヒノキなどの人工林は、「間伐」などの適切な手入れをしないと、元気な森林に育てることができません。

関連シート

⇒ 03-01 森林には
どんなはたらきがあるの？

手入れをしないと、枝や葉が混み合ってきて、森林の中に光が届かなくなります。

そうすると、木は十分に成長できず「もやし」のようになってしまいます。

また、草などの植物がなくなってしまうます。



元気がない森林

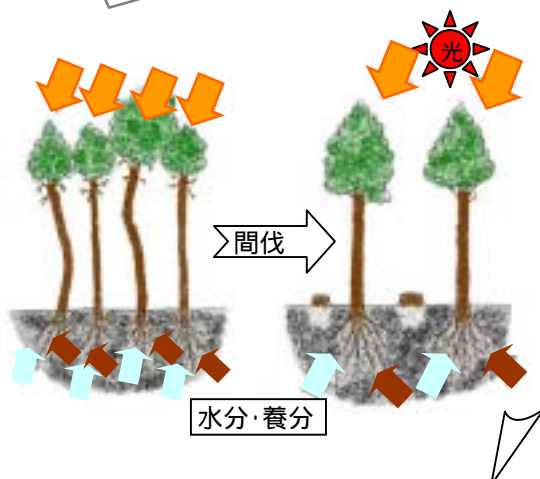
地面がむきだしで、土が雨などにより流されやすくなっています。

地面の土が流れ出てしまい、水を貯えたり、土砂崩れを防ぐ力も弱くなっています。

間伐

かんばつ

かんばつ
間伐とは、一部の木を伐って、木と木の間隔を広くするように本数を減らすことです。



元気な森林

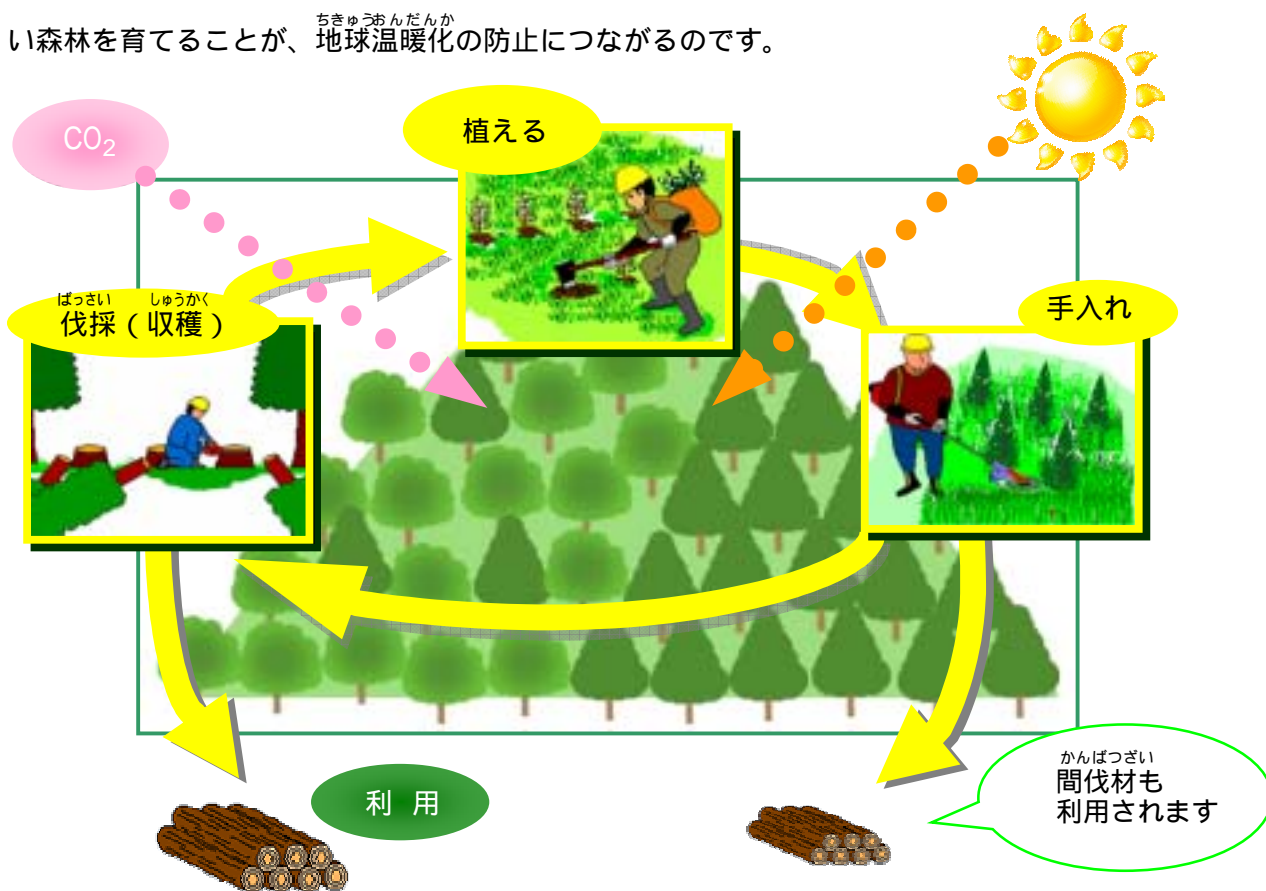
森林の中に光が届き、木は二酸化炭素（CO₂）を盛んに吸収して成長します。地面にはいろいろな植物が茂り、その落ち葉などが積もってふかふかのスポンジ状になった土は、雨水をよく貯えます。

04-04 地球温暖化を防ぐ森づくり

森林は、光合成のはたらきによって、地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO₂）を吸収し、木の中に貯えながら成長します。森林を育てることは、地球温暖化の防止に役立つのです。

若い育ち盛りの森林は、たくさんのCO₂を吸収して成長しますが、成熟してあまり成長しなくなった森林は、CO₂を吸収するはたらきは小さくなってしまいます。

ですから、成熟した森林は、伐って木材として利用し、伐ったあとにはまた苗木を植えて、若い森林を育てることが、地球温暖化の防止につながるのです。



自動車1台が、1年間で排出する二酸化炭素 = 約2,300kg

吸収 → 元気なスギ160本 (80年生)

(資料: 林野庁ホームページ)



光合成で吸収されたCO₂は、炭素に形を変えて木の中に貯えられます。この炭素は、木を伐ったあとも、木材として使われている間は、ずっと木の中に閉じ込められています。

05-01 木材やキノコなどの生産

林業は、森林で林産物（木材、キノコ、竹、山菜など）を商品として生産する産業です。特に木材生産が古くから盛んな地域は「林業地」と呼ばれています。栃木県では、木材だけでなく、キノコの生産も盛んに行われています。

木材



伐採された木は、山で丸太にされ、市場に運ばれます。



角材や板材は家などの材料に使われます



丸太の市場。製材工場の人などが買っていきます。



製材工場で、角材（柱材）や板材（壁・床材）に加工されます。

キノコ

キノコは農家や林家の方が収入を得る手段の一つとして、県内で広く生産されています。一番多く生産されているのはシイタケで約4,230トン、次にマイタケが約560トンとなっています。

生産量 = 平成21年度（栃木県林業振興課資料）



シイタケの原木栽培

（自然の木で育てる、昔ながらの栽培法です）



シイタケの菌床栽培

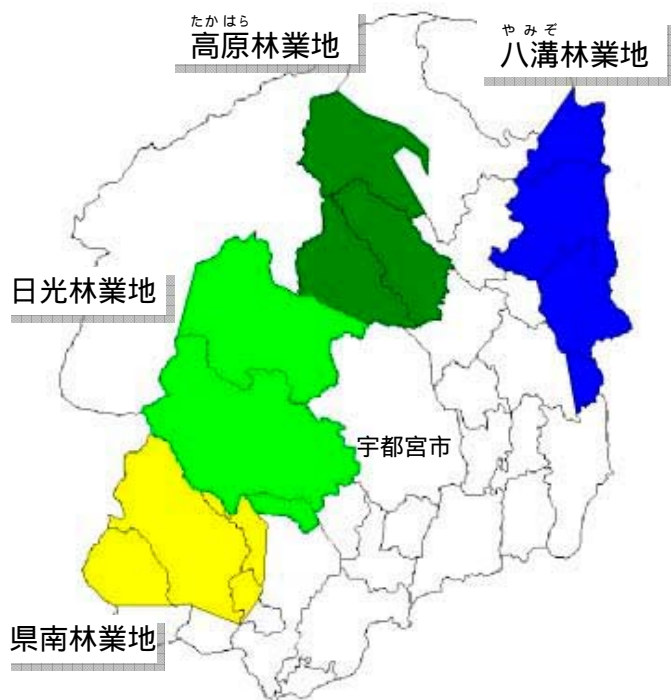
（オガクズなどに養分を加え、ブロック状に固めた「菌床」で育てます。）



マイタケの自然栽培

05-02 4つの林業地

栃木県には、日光・八溝・高原・県南の4つの林業地があります。
林業地では、主にスギ、ヒノキが育てられています。



林業地の木材生産のようす

日光林業地

鹿沼市及び日光市、西方町の2市1町からなり、面積は約6万4千ヘクタール（県土面積の10分の1）で、栃木県最大の林業地です。古くから人工造林が行われ、樹齢300年以上の木もあります。

江戸時代に、日光東照宮の建設のために多くの木材が使われたり、川を利用して江戸に運び、江戸市民の建築用材として使うことができたことなどの理由から、林業が盛んになったといわれています。

八溝林業地

大田原市及び那須烏山市、那須町、那珂川町の2市2町からなり、面積は3万2千ヘクタールで、日光と並んで栃木県を代表する林業地です。

日光より規模は小さいですが、歴史は古く、江戸時代から人工造林が行われてきました。

高原林業地

矢板市を中心に那須塩原市、塩谷町の2市1町からなり、面積は1万8千ヘクタールです。日光や八溝に比べると規模の小さい林業地です。歴史が浅いため、若い木が多いことが特徴です。

県南林業地

足利市、佐野市、岩舟町の2市1町からなり、面積は3万3千ヘクタールです。

南部の林業の歴史は浅いのですが、東部の旧田沼町、旧葛生町は古くから木材の生産が行われており、この地域の木材は、「みかも材」と呼ばれています。

06-01 「木」の良さってなんだろう？

木は、自然の素材で、わたしたちにやさしい優れた性質を持っています。



さわりごち

ぬくもり

木をさわると、ぬくもりを感じます。これは、コンクリートや金属に比べて、木が熱を伝えにくい性質を持っているからです。この性質から、人が直接触れるところに木が使われていることが多いのです。



金属のなべの取っ手



体育館の床



手すり

やわらかさ

木がやわらかく感じるのは、木が衝撃をよく吸収するから。だから、木の床は歩いても疲れにくいのです。転んだ時も、コンクリートの床に比べると痛くない、と感じたことはありませんか？

コンクリートと木材の床で
とびはねてみよう！

見た目のやさしさ

木は、光の反射を適度におさえる性質があり、まぶしさがやわらげられます。また、赤外線をよく反射することから、あたたかみのある、目にやさしい色合いとなります。

年輪がつくる木目の模様は、人に心地よさを与えてくれます。



規則的なシマ模様



年輪の木目模様

見比べてみよう

木の香り



木造住宅

木の香りには、ストレスをやわらげてリラックスさせる効果があります。細菌やダニを防ぐ効果も確かめられています。

木の家って、いい香り。気分も
落ち着く感じだな。

音を調整する

木は適度に音を吸収し、心地よく感じる音の範囲に調整してくれます。木材を使った空間では、「音がいつまでも響かず適度に反射する」ので、音が聞きやすいと言われます。



木材を利用したコンサートホール

06-02 「木」は環境にやさしい材料です

関連シート → 04-04 地球温暖化を防ぐ森づくり

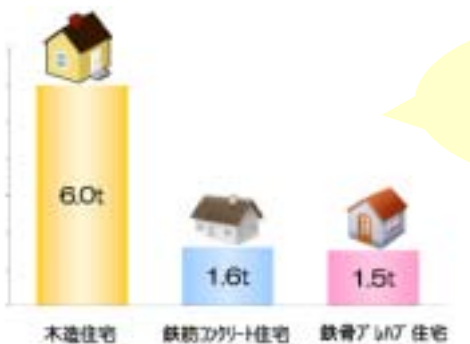
炭素を貯える

木は、光合成によって二酸化炭素（CO₂）を吸収し、炭素（C）に形を変えて木の中に貯えます。この炭素は、木が生育している間だけでなく、木材として伐り出され、住宅や家具などに利用されている間も、ずっと木の中に貯えられているのです。



しっかり炭素をつかまえておくから、長く使ってね。

木の家は多くの炭素をたくわえている。「炭素の缶詰」とも言われるよ



住宅1棟にたくわえられている炭素の量

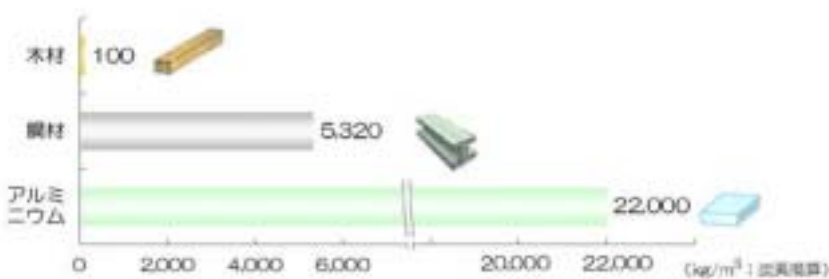
資料：木が守る地球と暮らし（財団法人日本木材総合情報センターほか）



学習用の木製机・椅子1セットがたくわえている炭素の量
= およそ 7 kg

資料：林野庁ホームページ

省エネ材料



各材料1 m³を製造した時に放出されるCO₂の量

資料：地球温暖化防止森林吸収源10力年対策のあらまし（林野庁）

木材は、鉄やアルミニウムなど他の材料と比べると、製造するときに必要なエネルギーがとても小さいのです。

つまり木材は、製造する時に発生するCO₂の量をとても少なくおさえることができるのです。

06-03 「木」を使おう!!

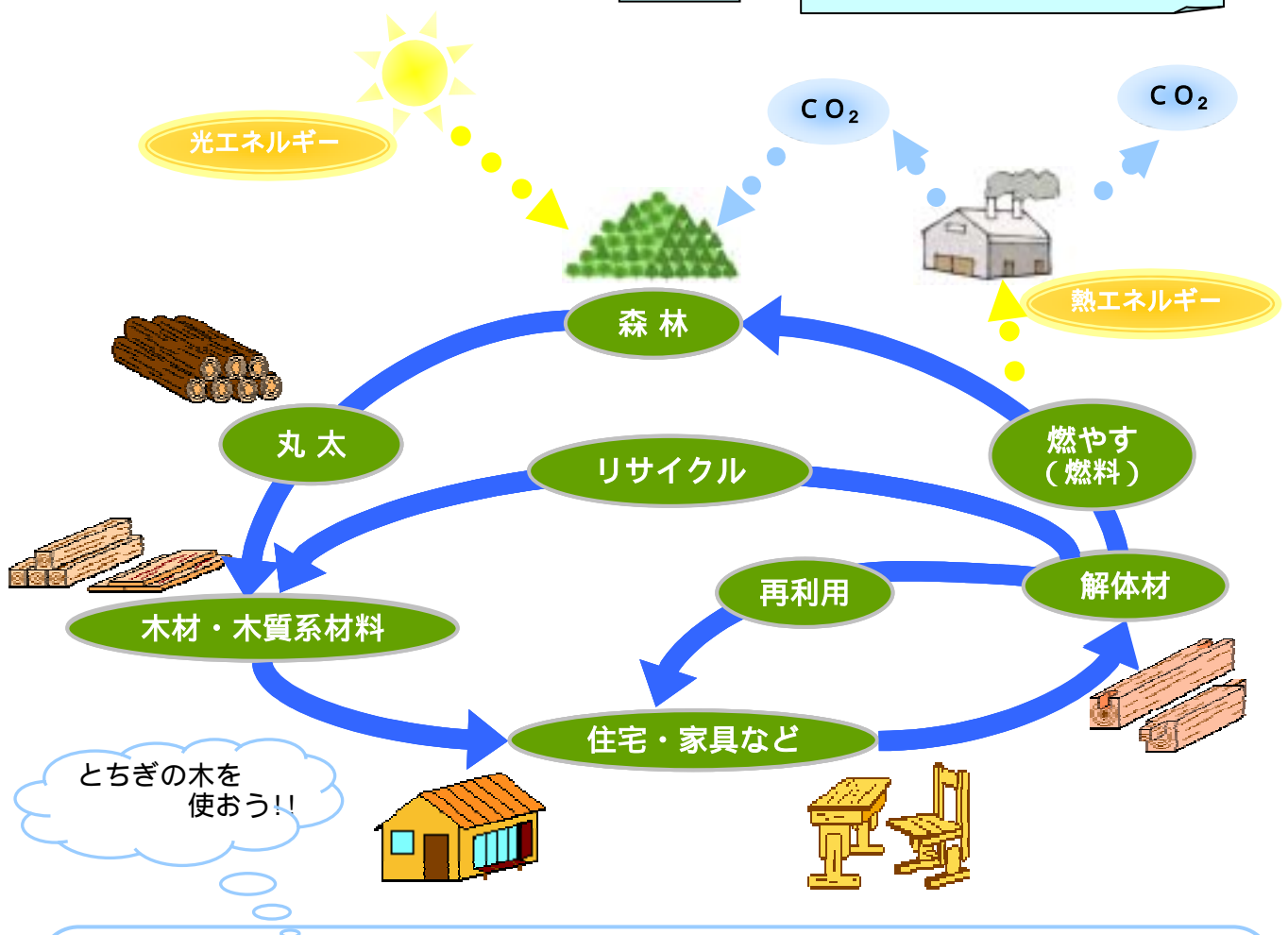
石油や石炭などの資源は、使い続ければいつかはなくなってしまいます。それに対して木材は、「森林を育てて、木を伐って利用し、また苗木を植えて育てる」ことの繰り返しによって、再生することができます。

それだけでなく、木造住宅や木製の家具などは、使わなくなったら解体して別のものに作り変えたり、最後に廃棄する時には燃やしてエネルギーとして利用するなど、木材は循環利用できる資源なのです。

また、木は、地球温暖化の原因である二酸化炭素(CO₂)を吸収しながら成長し、このCO₂は、木を伐って木材として利用されている間も、ずっと木の中に閉じ込められています。

ですから、木材を長い期間利用し、その間にまた新しい森をつくり育てていくということが、地球温暖化を防ぐために効果的なのです。

関連シート ⇒ 04-04 地球温暖化を防ぐ森づくり



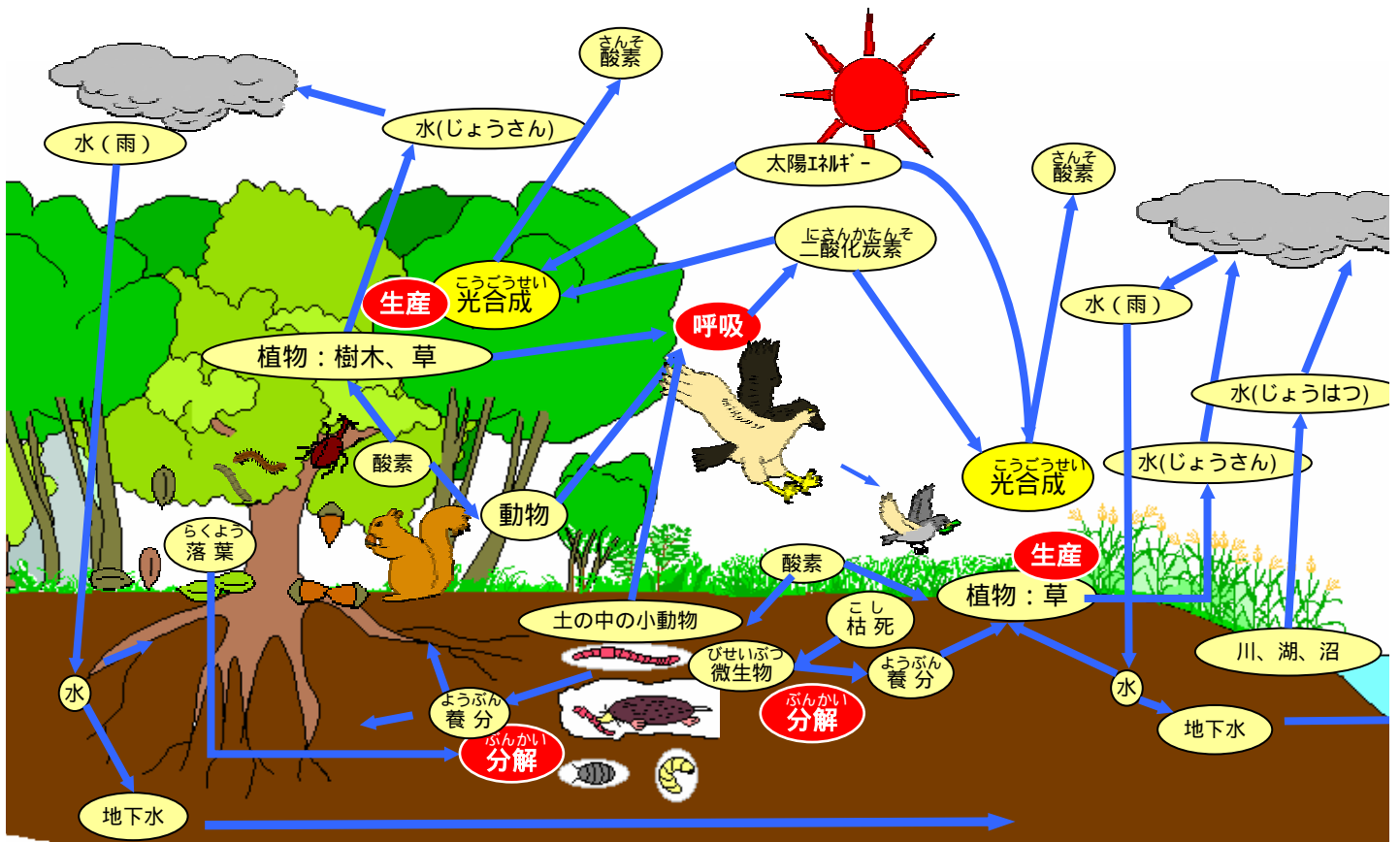
外国の森林など遠いところで育った木は、長い距離を船やトラックなどで日本に運ばれて来ます。その間に、たくさんの燃料が使われ、多くのCO₂が出されてしまいます。

近くの森林から生まれた木材を使うと、運ぶ距離が短い分、CO₂の出る量が少なく、地球温暖化をおさえることになります。

07-01 自然界のつながり「生態系」

環境とは、土や水、地形、気候などとそこで生きている生物（動物、植物、昆虫など）すべてをとりまくもので、これらは互いにつながりあっています。

自然界におけるこれらの関係やつながり全体を「生態系」といいます。



生態系（陸上）の模式図

5月22日は「国際生物多様性の日」

自然界にはたくさんの生き物が生息し、同じ種類の中でも、環境の違いなどによって姿や行動に違いがあります。個性のある様々な生き物、そして生態系同士が、にぎわいながら良好につながりあう関係を「生物多様性」といいます。

07-02 栃木県の鳥獣

栃木県は、北部は日光や那須などの山岳地帯となっており、また、県の中央部は、その山々から流れる鬼怒川、那珂川などの河川を中心として、田園と平地林が作りだす豊かな平野がひろがっています。

本県の自然環境は、山岳、河川、湖沼、湿原など変化に富んでおり、多くの種類の野生鳥獣が生息しています。

県内で普通に見られる鳥の種類は170種前後で、そのほか、渡り鳥を含めると約300種が確認されています。森林ではウグイス、県鳥であるオオルリ、草原ではホオジロ、市街地や里山ではヒヨドリ、メジロ、ヒガラなどなど、環境に応じて色々な種類の鳥が生息しています。

とちぎの鳥類



オオルリ



メジロ

県鳥:オオルリ (昭和39年指定)

東南アジアで冬を越す渡り鳥で、日本では4月下旬から10月頃まで見られます。山地、特に沢沿いの森林に生息し、県内では日光、塩原、那須等の渓谷で多く見られます。声が美しく、ウグイス、コマドリとともに「日本三鳴鳥」と言われます。雄は、美しい瑠璃色の姿をしています。

とちぎの獣類

県の北部や北西部の山地帯には、ミズナラやブナの落葉広葉樹林、コメツガなどの常緑針葉樹林が広がり、大型ほ乳類のツキノワグマ、ニホンジカ、ニホンザル、イノシシ、県獣であるニホンカモシカなどが生息しています。



ニホンカモシカ



ツキノワグマ

県獣:カモシカ (昭和39年指定)

県北西部の山地の奥深くに生息し、草や木の葉などを食べています。日本固有のウシ科の動物で、体はシカよりやや小さく、オス・メス両方に短い角が生えており、おとなしい性格をしています。国の特別天然記念物にも指定されています。

07-03 人間にとっての森林

多くの種類の生物が生きていくためには、豊かな自然環境かんきやうが必要です。その中でも森林は、地球上の大気や水のつながりを保つうえでも、重要な役割はを果たしています。

そのような地球規模きぼでの森林のはたらきによって、私たち人間をはじめ、多くの生物が生きていくことができる地球環境かんきやうが保たれています。

人間の生活さまざまも様々な面で森林いそんに依存し、森林を利用してきました。

森林のはたらき

森林の色々なはたらきについては

関連シート



シート03
森林のはたらき

森林の利用

レクリエーション利用

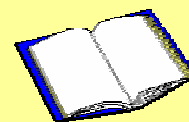
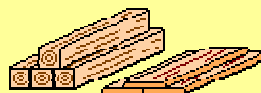
森の空気を浴びる森林浴は、私たちを健康にします。

森の緑の色 目におだやかな感じを与え、心を落ち着かせます。

森の空気 植物は、気分をリフレッシュさせる成分ほうしゆつを放出しています。



木材の利用



日本人は、昔から、暮らしの中のいろいろなものに木材を利用してきました。

家はもちろんのこと、神社やお寺などの大きな建物も木材でつくってきました。

寿司桶すしおけや、酒やしょうゆを入れる樽たるなども木材でできています。

学校ではどうでしょうか。体育館ゆかの床、跳び箱とびこ、それに机つくえやイス、黒板などにも木材が使われていますね。

また、本やノート、ティッシュペーパーなどの紙製品せいひんも、木材を原料として作られています。



日本で使われている木材の約8割は、外国の森林から生産されたものです。

世界の森林は、山火事をはじめ、必要以上に無計画ぼっさいに伐採されたり、農地にするために開発されるなどの原因により、年々減少しています。1年間の減少の量は、日本の国土面積の約5分の1となっています。

森林の減少は、洪水こうずいや水不足、地球温暖化ちきゅうおんだんかや砂漠化さばくかの進行など、地球規模きぼでの環境問題かんきやうを深刻化しんこくかすることにつながります。

そのため、森林を将来にわたって維持いじしながら利用するしくみづくりが進められています。

かけがえのない森林や自然環境かんきょうを将来に残していくために、私たち一人ひとりがその大切さを理解し、できることから始めることが必要です。

森林や自然環境かんきょうを守るために行われている様々な取り組みさまざまを御紹介します。

08-01 とちぎの元気な森づくり

栃木県の大切な森林を、県民全体が協力して守り育て、将来に引き継いでいくために、栃木県では、平成20年度に「とちぎの元気な森づくり県民税」を導入しました。

この税を使って、手入れの遅れた森林の整備を行う「元気な森づくり」と、森林の大切さを理解し、森づくり活動に参加する人を育てる「森を育む人づくり」を進めています。

元気な森づくり



元気で安全な奥山林の整備

手入れの遅れた人工林じんこうりんの間伐かんぼつや、クマなどによる皮はぎ被害かわひがいから樹木を守るための防護資材ぼうごしざいの設置せっちなどを進めています。



明るく安全な里山林の整備

将来まで守り残したい身近な里山林みじか、通学路沿いや人家周辺等にある暗い里山林などにおいて、やぶの刈り払いかりはらや、不要な木の伐採ぼっさいなどを行い、明るく安全な里山林に再生して

森を育む人づくり



森林の観察会



森づくり体験活動



木工工作体験

森づくりや木を使うことの大切さを理解してもらうため、森づくり体験活動かいさいの開催や、木の良さのPRに取り組んでいます。

08-02 身近な取り組み、ボランティア活動！

県内各地で、いろいろな人が様々な参加の仕方^{しかた}で、森林や自然を守るために活動しています。

また、森林やみどりのために活用される「緑の募金」^{ほきん}に協力することも、それらを守ることに繋がります。

森林ボランティア活動



全国的に森林ボランティア活動は増えてきています。栃木県でも多くの方が、県内の森林を守り育てるために、植栽^{しょくさい}や下刈り^{したがり}、間伐^{かんぱつ}などの森づくりに汗を流しています。

緑の少年団活動

学校や、学校のまわりにも、たくさんの森林や緑があります。緑を守り、育てる活動が「緑の少年団活動」です。



足尾での植樹活動



地域の森林の清掃活動

景観保全活動



那須街道^{なすかいどう}における「とちぎふるさと景観里親団体」^{けいかん}（那須町の高久^{たかく}小学校、那須小学校など）のボランティア活動により、みどり豊かなふるさとの景観^{けいかん}を守り伝えていきます。

企業やNPO団体などによる森づくり

企業^{きぎょう}やNPOなどの団体が、社会貢献^{こうけん}を目的として森づくり活動を行う取り組みが、全国的に広がってきています。

栃木県でも、このような「企業等^{きぎょうどう}による森づくり」を進めています。



08-03 森林やみどり、自然を守る^{さまざま}様々な取り組み

文化財としての「みどり」を守る

歴史的な由来^{ゆらい}を持っていたり、地域のシンボルとして古くから守られてきた名木などは、「天然記念物^{てんねんきんぶつ}」の指定を受けるなどにより、保護^{ほご}されています。



日光杉並木

日光杉並木街道^{かいどう}には、樹齢^{じゅれい}300年を超える杉が約1万3千本残っています。

けれども、杉の老齢化^{らうれいか}や、道路工事の影響^{えいきょう}などにより、年間約100本の杉が枯れています。

そのため、根を保護^{ほご}し、弱った杉を回復^{かいふく}するための柵^{さく}を設置^{せっち}する「木柵工^{もくさくこう}」が行われています。



木柵工

貴重な^{きちょう}自然を守る



日光国立公園・小田代原（日光市）

美しい景観^{けいかん}や、貴重な生態系^{せいたいけい}など、自然のままに守っていくべき森林は、保護地域^{ほご}に指定し、法律で開発を規制^{きせい}するなど、適正に管理されています。

保護地域^{ほご}には、いろいろな種類があります。「国立公園」や「県立自然公園」、また「世界遺産^{いさん}」などもその一種です。



世界遺産・白神山地のブナ林（青森県）

森林や自然守る方法は^{さまざま}様々です。

みなさんの周りの森林や自然などは、どんな役割を果たしていて、どんな方法で守っていくことがふさわしいのか、みなさんで考え、そして行動してみましょう!!



とちぎの森づくりホームページ
<http://mori.ecomori-tochigi.jp/>

とちぎの森づくり

検索



平成22年3月改訂
編集・発行：栃木県環境森林部地球温暖化対策課
〒320-8501
宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-3262